

◆地球温暖化を甲府から考える！気象予報士と学生たちが思いを語る

甲府市がめざす2050年「ゼロカーボンシティ」に向けて、気象予報士の北野芳仁氏による甲府市を中心とした地球温暖化の現状に関する講演をおこないます。小・中学生の「地球温暖化作文コンテスト」と高校・大学生の「脱炭素アイデアコンテスト 2025」の表彰式・作品のパネル展示もおこないます。

・日時／2025年3月2日(日)13:00～16:30 開場 12:00～

・会場／リッチダイヤモンド総合市民会館 1F 芸術ホール (甲府市青沼3丁目5-44)

・参加費／無料 定員／500名 ・申込締切／2月21日(金)必着

●主催・申込／甲府市地球温暖化対策地域協議会 Tel 055-241-4363 FAX 055-241-6190

mail: kanseisaku@city.kofu.lg.jp ※電話・E-Mail・FAXのいずれかでお申し込みください

◆やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム～持続可能な未来への道 出会う・つながろう・ともに歩もう～ご案内

県内で環境保全に向けた活動を行っている個人・団体・企業・高校、行政等による活動発表を通じて、課題解決に取り組んでいく機会とするとともに、参加者相互の情報交流とネットワークづくりを目的に開催します

・日時／令和7年2月23日(日)13時15分～16時30分(受付12時45分～)

・会場／ぴゅあ総合 2階大研修室 (男女共同参画推進センター)甲府市朝気1-2-2

・主催／(公財)やまなし環境財団・環境パートナーシップやまなし

・内容／やまなし環境財団「若宮賞」表彰式★ および ポスターセッション発表団体

「エシカルメディア taneto」「どじょっかわビオトープクラブ」「蓬沢いきいきサロン」「クロダ(株)」「甲府ユネスコ協会」「生活協同組合ユーコープ」「北杜市立甲陵高等学校SSH分析班」「(公財)山梨県緑化推進機構」「北杜市立甲陵高等学校SSH AI班」「山梨県ボランティア協会」「★白鳳会」「山梨環境カウンセラー協会」

●申込／山梨県環境・エネルギー部自然共生推進課 FAX:055-223-1781 E-mail:shizen@pref.yamanashi.lg.jp

◆生物多様性シンポジウム ご案内

人と自然とのかかわりを見直し、自然環境の保護・保全に関して、市民の意識向上を図り、生物多様性の意義を広く浸透させることを目的に、基調講演、活動発表、パネルディスカッションと、多くのゲストをお招きして開催いたします

・日時／2025年2月9日(日)13時～16時30分 開場 12:30

・会場／長坂コミュニティ・ステーションホール (北杜市長坂町長坂上条 2579-19)

・内容・ゲスト／●基調講演 安田泰輔(山梨県富士山科学研究所) ●活動発表「甲陵高校」「帝京第三高校」「笛吹高校」「都留高校」

「富士山クラブ」「ハヶ岳南麓 原生花保存会」●パネルディスカッション 講演者、活動発表者に加えて「げんごろう工房」「畑山農場」

●主催・お申込み／北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会 TEL:0551-42-1341

メール: greenhokuto@gmail.com

◆やまなし環境教育ミーティング2025【子どもの育ちを支える地域・環境づくり】ご案内

山梨県には地域に根ざした暮らしや教育、仕事や環境活動が多く魅力的です。山梨県内の活動を「知る」ための良い機会として活用していただき、より効果的な地域での活動連携につなげていければと考えています。

・日程／2025年3月20日(木・祝) ・会場／山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター(北杜市高根町清里3545)

・ゲスト／宇田川朱恵(富士川町議・森のようちえんきらきら星)、舟津宏昭(富士山アウトドアミュージアム) 残間時忠(保育士・ぐうたら村スタッフ)

・申込／右記のフォームから <https://fureai-c.info/programall/>

●お問合せ／山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター

TEL 0551-48-2900 メール fureai-c@keep.or.jp

発行:公益財団法人キープ協会
山梨県地球温暖化防止活動推進センター
山梨県北杜市高根町清里 3545
eco@keep.or.jp 0551-48-8011



●未来の環境を創る 次世代のための講座 プログラム報告

山梨県地球温暖化防止活動推進センターでは、この秋冬、山梨県で活躍する異ジャンルの仕事人をゲストに迎え、未来の環境を自らの手で創りだしていける仲間を増やしたいというコンセプトでワークショップを開催しました。それぞれのテーマごとに、深みのある、豊かな内容となりました。ダイジェストで報告します。

★各回の内容をセンターWEB・教材ページに掲載 <https://www.keep.or.jp/yccca/material.html>

◆第1回『でんきのむこうに人がいる？感じたことありますか』

【ゲスト】鹿島健(つるエネルギー代表) <https://tsuru-e.com/>

エネルギーを通じて地域文化を育みたいと語る鹿島さん。その“地域”とは、いわゆる近所だけではなく、離れていても同じ価値観を共有する人と、未来の価値を生み出していきたいという開かれたイメージ。また、未来は自分で変えられるというワクワクしたエネルギーも共有したいと、地元学生や企業との企画も紹介。自らの起業プロセスで見出したメソッド「ピュアな探求心」「瑞々しい感性」「共感のストーリー」「覚悟」「祈り」などもやわらかに笑顔で発信★

◆第2回『桃を育てながら 大地を愛し 気候変動にも協力する農』

【ゲスト】山下一公((有)ピーチ専科ヤマシタ代表) <https://www2.momo-net.co.jp/aboutus/>

世界の土壌の炭素量を年間4パーミル増加させれば大気中 CO2 を実質ゼロにできるという、フランス発祥の農法に挑戦する山下さん。無煙炭化機という器具で桃の木の剪定枝を、灰にせず炭にして果樹の土壌に戻す。すると土壌も豊かになり、大気中 CO2 も減少、まさに一石二鳥。この成果が目に見えるのは先だが、今日じぶんが気持ち良いことを、そういう毎日を生きたい！と日焼けした笑顔で語る姿がなんともかっこいい！



◆第3回『桃とエネルギーとシカフンと～地球から受け取っているものを考えるワーク』

【ゲスト】田中伊代(リコージャパン勤務・八ヶ岳 SDGs コミュニティ運営委員) <https://iyo.hp.peraichi.com/>

学校や企業などで多様なワークを生み出す田中さん。その中で、大人になるのが楽しみじゃない…という子どもの声に驚き、子どもが夢を持つには親や大人こそ楽しんで生きたい！と奮闘中。今回は書籍「世界がもし100人の村だったら」をワークにアレンジ。世界人口の年齢別の比較や、6大陸ごとの面積、人口、CO2 排出量を比較。ワークの中で皆から出された「なぜこうなの？もっとこうできるかも！」という素直な発想力で生きていこうと優しい笑顔♪

脱炭素につながる未来の環境を変える実践講座
 <山梨県地球温暖化防止活動推進員研修会兼ねる>

これからの学校での 気候変動教育



高田石井先生
 JCCCA 全国地球温暖化防止
 活動推進センター理事長

山梨はやっぱりいいねえは!!
 薪ストーブが恋しいよ
 今は大阪都会が恋しいよ



2023年より

文科省主導で『気候変動教育』を学校に広げる
 プロジェクトを台座! 今は各地の学校をまわり実情を
 調査しているところです。さて、これからどうしていくか??

気候変動教育を学校に広げるために

- ① 豊かに生きる・理想の社会を描くことができるか?
(well-being)
- ② 批判的思考・創造的思考ができるか?
(critical thinking) (creative thinking)
- ③ 対話・合意形成の技術が「養われているか」?
(communication skill)
- ④ 緩和策と適応策の立体的アプローチができるか?
- ⑤ 地域ごとの社会実装に関与できているか?
- ⑥ 学校のカリキュラムの中に無理なく位置付けられるか?



自転車推進先進国オランダ Nederland

風力発電の風車もあるよ!
 国土の28%が海面より低い
 風車で水路の水を川に汲み上げる排水システム
 自転車専用レーンは35000km
 国民全体で1日3km走る
 10代は1年間ほとんど2000km走る!
 健康寿命も長そうだなー
 法律で! 自転車専用レーンを車道と完全に分離

鳥取県
 先生への研修
 県庁環境行政と連携
 教員向け気候変動教育研修
 トライアル授業
 学習プログラム
 教材ツール作成

徳島県
 坂東小学校
 コウノトリのえさを子どもたちにつくる
 有機農業×脱炭素

秋田市
 ペリナローク
 ある朝目覚めたらなんと私は市長になっていました。脱炭素にむけてさあ、あなたは何をやりたい?
 脱炭素チャレンジカップ
 エントリーしよう!
 高校生が「制服取り組み」をベスト4案実現!

秋田市HPよりDLできます

大阪府堺市<サイクルシティ堺> —自転車のまちづくり—

市役所やシマノのヒアリングから自分たちの意見をポスターに
 自転車×カー
 環境にいい自転車
 とニヤさん 和葉子さん コンビニ等で掲示!!
 迷わされるのも免れ強です
 貼らせてください
 うちはちよと...
 エイッ! 先生

他人事から自分事にするために
 疑問課題
 課題追究
 整理分析
 外部との交流
 ためになる実感
 まとめる発表
 出前授業
 思考の深まり

未来につながる自転車

南アルプス子どもの村中学校「くらしの歴史食館」 循環するくらしを探る中学生たち



たのしいから学校。たのしくなければ学校じゃない。
 『ホノモノ活動』が大事!
 坂真一郎先生



月	火	水	木	金
1	登校	教科	教科	70
2	自由選択	教科	教科	70
3	自由選択	教科	教科	70
4	自由選択	教科	教科	70
5	教科	自由選択	教科	自由選択
6	教科	自由選択	教科	自由選択
7	教科	自由選択	教科	自由選択

70プロジェクト=クラス
 テーマ:衣食住と芸術等
 個性化原則
 自由遊び
 自由制作集会
 作業
 個人相談等
 70プロジェクト
 個別学習

おいしいものをつくる会
 クラフトセンター
 わくわくファーム
 農園みなみ座
 アート&クラフト

くらしの歴史食館
 ものづくり研究館
 農園カサレオン
 ゆきほたる荘

大人は干し草を作った宣伝
 年度台めに子どもが選ぶ

今年25種類!

火田
 アイガモ×田んぼ
 卵孵化から自分たちで!
 ビートルにはも

リジェネラティブ農業
 草が生えすぎちゃった!
 アグロポックス
 水に年した!

Oから食堂
 自分たちで育てた食材をお届け!!
 電子楽器や食堂の電気も自給

Oから電力
 電子楽器や食堂の電気も自給

養蜂(はちみつ)
 異常気象・農薬・タンニ・病原などにより、ミツバチが危機に

自分たちの手で『小さな地球』を作ることで壊れてしまいうる地球の循環の車輪が再住できるかもしれない!
 『孝える孝教育』から子どもにまかせ待つ教育へ!
 「あれ、なんで? おかしいな」と考えながら進めていく姿はまさに『小さな研究者』!

「私たちのおいしい」が「地球の悲しい」ではなく「地球もうれしい」に!という言葉にしみれました! すばらしい一言です